



## 今日のトピック 2022年の米国株式市場の見通し

### 堅調な企業業績によって上昇基調を継続

#### ポイント1

#### 22年も変異株の感染が話題となろうが過度な懸念は不要 変異株の影響は中期で考えれば限定的

- 米国株式市場は、新型コロナウイルスの変異株（オミクロン型）に対する懸念が薄らぎ始めました。オミクロン型の感染は拡大していますが、重症化リスクは比較的低いとの研究結果が相次いでいること、米食品医薬品局（FDA）がファイザー社やメルク社の新型コロナ経口治療薬の緊急使用を許可したこと等が好感されています。今後も更なる変異が想定されることから、22年も新型コロナの影響で株価の変動率が高まる場面はあると予想されます。ただ、これまで経験してきたように対処は十分可能であり、過度な懸念は不要と考えられ、米国株式市場への変異株の影響は中期で考えれば限定的と見られます。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

#### ポイント2

#### 利上げ局面入りでも業績が堅調であれば株価は上昇へ 物価は上昇するも、適切な金融政策で経済の腰折れは回避

- 22年は物価の上昇が懸念される中、利上げ局面入りとなります。適切な金融政策により、経済の腰折れは回避できると考えています。弊社では22年に3回（6月、9月、12月）、23年も3回（3月、9月、12月）の利上げを想定しています。ちなみに過去の利上げ局面で株価が調整した場面は、景気、企業業績が鈍化し始めた時点でも、利上げサイクルを継続したことが要因と考えられます。景気・企業業績が堅調であれば、利上げ局面でも株価は業績に沿った上昇が期待できると考えます。

#### 今後の展開

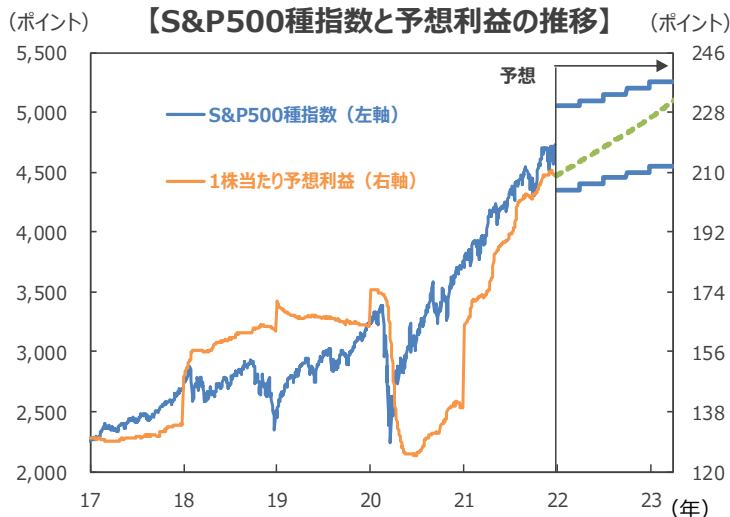
#### 堅調な展開を予想

- 市場を支えてきた財政政策も、現在の高いインフレ率の下では追加は難しいと思われます。やはり、22年の米国株式市場は最大のドライバーである企業業績の伸びがカギとなりそうです。Bloombergによれば、22年のS&P500種指数採用企業の1株当たり予想利益は前年比 + 8.2%、23年は同 + 9.7%と予想されます。米国株式市場はしっかりと業績の成長を支えに堅調に推移する見通しです。

#### 【2022年10-12月の予想レンジ】

		下限	上限
S&P500種指数	ドル	4,500	5,200
NYダウ	ドル	34,000	39,300
NASDAQ総合指数	ドル	14,900	17,200

（出所）各種データを基に三井住友DSアセットマネジメント作成



#### ここも チェック!

2021年12月13日 今年のマーケットを振り返る2 米国株式市場  
2021年11月30日 「オミクロン」と米国株式市場 中期的な株価上昇期待は維持

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。